

# コーパスを利用した複合動詞「V1-通す」の意味分析

杉 村 泰

キーワード：コーパス、コロケーション、複合動詞、「V1-通す」、日本語教育

## 1. はじめに

本稿は「貫通」および「一貫継続」の意味を表す日本語の複合動詞「V1-通す」について論じたものである。従来、「V1-通す」については、城田（1998）、田他（1998）、姫野（1999）などに次のような記述があるぐらいで、あまり詳しく論じられてこなかった。本稿では「V1-通す」のV1にいかなる動詞が来るかを見ることにより、「V1-通す」の意味について論じることにする。

城田（1998：145）

・トオスは・ヌクに近いが、完成に至る過程に逆流のあることを特に表現しない。立ちトオス。一晚荒レトオシタ風雨ハ…。結果動詞では多回の意味も醸成されることがある。イツモ勝チトオス。

田他（1998：582）

「通す」は「奥〔応接間〕へ通す・道〔トンネル・電話・ガス管・火・熱・糸〕を通す・受け付け〔窓口・経験・人〕を通す・建前〔信念・意見・筋・無理〕を通す・独身で通す」など、こちらから何かを經由して向こう側へ行けるようにする・取り消すことなく最後まで維持するといった意味があり、補助動詞「～通す」にも「刺し通す・突き通す・透き通す・吹き通す」など、向こう側へ達する、「言い通す・着通す・押し通す・読み通す・ぶっ通す・立て通す」など、最後まで反復・継続するという意味がある。

姫野（1999：190-191）

### A 語彙的複合動詞

「～とおす」の複合動詞	自動詞か他動詞か	意味特徴
対象〔を〕 ～とおす 釘を 突きとおす	他+とおす=他	貫通

B 統語的複合動詞

子が 歩きとおす	自 + とおす = 自	一貫継続
人が 欺きとおす	他 + とおす = 他	

- ・意志的行為を表す語に「とおす」がつくと、本人の疲労や怠け心、あるいは周囲の事情にくじけず、一貫してその行為を続けるという強い意志性を表すことになる。

2. 本動詞「通す」の意味

複合動詞「V1-通す」について見る前に、まず本動詞「通す」と「通る」の意味について見ておく。「通す」は非常に多義的な他動詞であるが、プロトタイプ的には「主体が、A地点からB地点まで経路または障壁となる関門を經由して対象を通じさせること」を表す表現である。一方、「通る」はその自動詞形で「A地点からB地点まで経路または障壁となる関門を經由して対象が通じること」を表す表現である。これらのイメージを図に表すと図1のようになる。

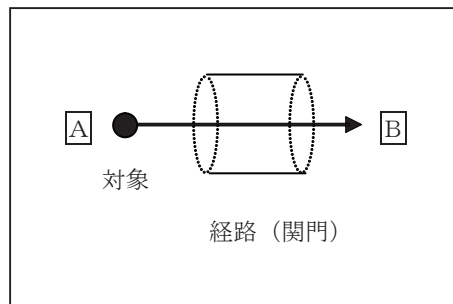


図1 本動詞「通す」と「通る」のイメージ

「通す」と「通る」はこのようなプロトタイプ的な意味から、主体の意志性の違い、経路や関門の違い、ヲ格とニ格の関係の違いなどによって様々な意味に分かれる。これを國廣（1979）、森田（1989）、田他（1998）、松村他（1995）などを参考にしてまとめると表1のようになる。

表1 本動詞「通す」と「通る」の対比

他動詞「通す」の意味	自動詞「通る」の意味
① 人が経路ニ移動物ヲ通行 / 通過させる ・鉄橋（迂回路）に人（車・列車）を <u>通す</u> 。 ・ <sup>?</sup> 家の前に（車・列車）を <u>通す</u> 。（經由地）	① 移動物が経路ヲ通行 / 通過する <b>【意志的】</b> ・人（車・列車）が鉄橋（迂回路）を <u>通る</u> 。 ・人（車・列車）が家の前を <u>通る</u> 。（經由地）
② 人が経路ニ物質ヲ流動させる ・血管に血液を <u>通す</u> 。 ・喉に食べ物を <u>通す</u> 。 ・回路（半導体）に電流を <u>通す</u> 。	② 物質が経路ヲ流動する ・血液が血管を <u>通る</u> 。 ・食べ物が喉を <u>通る</u> / <u>通らない</u> 。 ・電流が回路（半導体）を <u>通る</u> 。
③ 人が対象ニ空気や電気ヲ通気 / 通電させる ・家に風を <u>通す</u> 。 ・回路（半導体）に電流を <u>通す</u> 。	③ 対象ニ空気や電気ガ通気 / 通電する ・家に風が <u>通る</u> 。 (c.f. 吹き通す) ・回路（半導体）に電流が <u>通る</u> 。
④ 人がAカラBニ物質ヲ到達させる ・心臓から血管に血液を <u>通す</u> 。	④ AカラBニ物質ガ到達する ・心臓から血管に血液が <u>通る</u> 。
⑤ A氏カラB氏ニ情報ヲ通達する ・私から彼に話を <u>通して</u> ある。	⑤ A氏カラB氏ニ情報ガ通達される ・私から彼に話が <u>通って</u> いる。
⑥ 人が客の注文ヲ奥ニ伝える ・店員ガ客の注文を帳場に <u>通す</u> 。	⑥ 注文ガ奥ニ伝わる ・客の注文が帳場に <u>通る</u> 。
⑦ 人がA地カラB地マデインフラヲ開通させる ・町まで道（鉄道・電線・ガス管）を <u>通す</u> 。 ・町までバス（汽車・電気・ガス）を <u>通す</u> 。 (c.f. 引き通す、切り通す)	⑦ A地カラB地マデインフラガ開通する ・町まで道（鉄道・電線・ガス管）が <u>通る</u> 。 ・町までバス（汽車・電気・ガス）が <u>通る</u> 。
⑧ 関門ヲ審査機関ガ対象ヲ通過させる ・検問で警官が人（車）を <u>通す</u> 。 ・国会で議会在が法案を <u>通した</u> 。	⑧ 対象ガ関門ヲ通過する ・人（車）が検問を <u>通る</u> 。 ・法案が国会を <u>通った</u> 。
⑨ 人が関門ヲ目的ヲ通過（達成）させる ・彼は裁判でついに自分の主張を <u>通した</u> 。 ・与党は国会でついに法案を <u>通した</u> 。	⑨ 関門で目的ガ通過（達成）する ・裁判でついに自分の主張が <u>通った</u> 。 ・国会で法案が <u>通った</u> 。
⑩ 審査機関ガ審査ヲ人ヲ通過（合格）させる ・委員会は試験で彼を <u>通した</u> 。 ・委員会は予選で彼女を <u>通した</u> 。	⑩ 人が審査ニ通過（合格）する ・彼は試験に <u>通った</u> 。 ・彼女は予選に <u>通った</u> 。
⑪ 素材ガ物質ヲ透過 / 浸透 / 伝導させる <b>【無意志】</b> ・この素材は光（水・熱・電気）を <u>通す</u> 。 (c.f. (光を) 透き通す)	⑪ 物質ガ素材ヲ透過 / 浸透 / 伝導する ・光（水・熱・電気）がこの素材を <u>通る</u> 。 (c.f. (光が) 透き通る)
⑫ 人が対象ニエネルギーヲ加える ・料理人が食材に火（熱）を <u>通す</u> 。	⑫ 対象ニエネルギーガ加わる ・食材に火（熱）が <u>通る</u> 。
⑬ 人が基準点ニ対象ヲ通過させる ・彼は的に矢を <u>通す</u> 。 ・彼は針穴に糸を <u>通す</u> 。 ・彼は糸に真珠を <u>通す</u> 。 (c.f. 射通す、刺し通す、突き通す)	⑬ 基準点ニ対象ガ通過する ・的に矢が <u>通る</u> 。 ・針穴に糸が <u>通る</u> 。 ・糸に真珠が <u>通る</u> 。
・上司が書類に目を <u>通す</u> 。（派生の用法）	・*書類に目が <u>通る</u> 。（c.f. 通される）
⑭ 人が対象ヲ作用物ニくぐらせる ・白菜を熱湯に <u>通す</u> 。（湯通しする） ・検体を機械に <u>通す</u> 。	・*白菜が熱湯に <u>通る</u> 。（c.f. 通される） ・*検体が機械に <u>通る</u> 。（c.f. 通される）

⑮ 人が空間的に遠くまで視線を届かせる ・家の奥まで視線を <u>通す</u> 。(c.f. 見通す)	・*視線が <u>通る</u> 。(c.f. 通される)
⑯ 人が客ヲ部屋ニ案内する ・主人が客を応接間に <u>通す</u> 。	・*客が応接間に <u>通る</u> 。(c.f. 通される)
⑰ 人が仲介物ヲ仲介 / 中継して～する ・人(窓口)を <u>通して</u> 頼む。 ・彼女の優秀な頭脳を <u>通して</u> 理解する。 ・恋人の声を受話器を <u>通して</u> 聞く。 ・彼は自分の経験を <u>通して</u> 語る。	・*人(窓口)を <u>通って</u> 頼まれる。 ・*彼女の優秀な頭脳を <u>通って</u> 理解される。 ・*恋人の声が受話器を <u>通って</u> 聞こえる。 ・*彼は自分の経験を <u>通って</u> 語る。
⑱ 人が自分の境遇ヲ貫徹させる ・彼女は生涯独身を <u>通した</u> 。 ・彼は高校在学中ずっと一番 <u>通した</u> 。 ・彼は生涯一つの名で <u>通した</u> 。	・*彼女は生涯独身で <u>通った</u> 。 ・*彼は高校在学中ずっと一番で <u>通った</u> 。 ・*彼は生涯一つの名で <u>通った</u> 。
⑲ 人が自分の態度ヲ貫徹させる ・彼は最後まで主張(無理・筋)を <u>通した</u> 。 (c.f. 押し通す、貫き通す、守り通す、隠し通す、しらを切り通す、節を立て通す)	・*彼の主張(無理・筋)が最後まで <u>通った</u> 。 (c.f. 罷り通る)
⑳ 主体がある期間中ずっと～する / ～である ・作業員は昼夜を <u>通して</u> 復旧工事を行った。 ・この地域は年間を <u>通して</u> 降水量が少ない。	・*昼夜を <u>通って</u> 復旧工事が行われた。 ・*この地域は年間を <u>通って</u> 降水量が少ない。
㉑ 主体がある期間ヲ通算して～である ・この選手は年間を <u>通して</u> 50勝した。 ・この地域は年間を <u>通して</u> 二、三日しか雨が降らない。	・*この選手は年間を <u>通って</u> 50勝した。 ・*この地域は年間を <u>通って</u> 二、三日しか雨が降らない。
・*彼の話は支離滅裂で意味を <u>通さない</u> 。 ・*彼の話は筋を <u>通している</u> 。	⑭ 内容が伝わる ・彼の話は支離滅裂で意味が <u>通らない</u> 。 ・彼の話は筋が <u>通っている</u> 。
・*この薬を飲んだら鼻をよく <u>通す</u> 。	⑮ 鼻の通気ガススムーズにいく ・この薬を飲んだら鼻がよく <u>通る</u> 。
・*彼は声を遠くまでよく <u>通す</u> 。	⑯ 音声が行き渡る ・彼は声が遠くまでよく <u>通る</u> 。
・*彼は世間に名を <u>通している</u> 。	⑰ 名声が広く知れ渡る ・彼は世間に名が <u>通っている</u> 。
・*肌まで <u>透す</u> 下着。	⑱ 透けて見える ・肌まで <u>透る</u> 下着。(c.f. 透き通る)

以上の本動詞「通す」と「通る」の意味のうち、複合動詞「V1-通す」に意味的に対応しているのは「通す」の⑦⑪⑬⑮⑲と「通る」の③である。次に、コーパスを利用して複合動詞「V1-通す」の前項動詞(V1)にはいかなる動詞が来るのかを見る。

### 3. コーパス調査

#### 3.1 CD-ROM版「新潮文庫の100冊」の検索結果

本稿ではCD-ROM版「新潮文庫の100冊」とインターネットのWWWページをコー

パスとして利用した。このうち、CD-ROM 版「新潮文庫の 100 冊」からは全 256 例、前項動詞の異なり語数で 70 語の「V1-通す」が抽出された。その概要を以下に示す。

コーパス：CD-ROM 版『新潮文庫の 100 冊』

検索対象：日本人作家による 67 冊

検索方法：「通す」、「とおす」について活用形を含めて全て検索し、その中から複合動詞「V1-通す」を手作業で抽出した。

検索結果：同じ V1 を取るもの同士まとめて表 2 に示す<sup>1)</sup>

表 2 「V1-通す」の出現数（『新潮文庫の 100 冊』）（全 256 例、異なり語 70 語）

	出現数		出現数		出現数
1 押し通す	40	11 泣き通す	6	〃 苦しみ通す	2
2 見通す	37	12 歩き通す	5	〃 藻掻き通す	2
3 読み通す	13	13 拒み通す	4	〃 欺き通す	2
〃 刺し通す	13	〃 吹き通す	4	〃 着通す	2
5 守り通す	12	〃 立て通す	4	〃 責め通す	2
6 張り通す	11	〃 言い通す	4	〃 眠り通す	2
7 突き通す	9	17 射通す	3	〃 打ち通す	2
8 隠し通す	8	〃 頑張り通す	3	〃 考え通す	2
〃 駈け通す	8	〃 揺られ通す	3	〃 なり通す	2
10 遣り通す	7	20 我慢し通す	2	〃 好き通す	2

※出現数 1 件のもの

刮り通す、(部屋を) ぶっ通す、(油を穴に) 垂らし通す、(ハンケチを) 巻き通す、知らせ通す、主張し通す、反対し通す、説明し通す、黙り通す、団結し通す、働き通す、勤しみ通す、怠け通す、寝通す、(下痢を) し通す、(泣いたり) し通す、走り通す、住み通す、籠り通す、居通す、(将棋を) 指し通す、仮装し通す、煽ぎ通す、抱き通す、弄り通す、苛め通す、振り通す、(看板を一生) 上げ通す、思い通す、感じ通す、抑え通す、張りつめ通す、ぐらつき通す、辛抱し通す、(照り降りの乱雑な空気が) 続き通す、呪われ通す、追われ通す、逃げられ通す、背負わされ通す、馬鹿にせられ通す (以上 40 語)

### 3.2 Web 検索の結果

次にインターネットの WWW ページをコーパスとして「V1-通す」の前項動詞 (V1) の特徴を見る。WWW ページをコーパスとすることに関しては、「不自然な表現が混じる」、「文体差が見にくい」、「データの保存性が悪い」などの批判もある。しかし、「大規模データを検索することにより、普段あまり使わない表現を抽出することができる」、「書き言葉から話し言葉まで日本語の総体をひっくるめて検索できる」、「自然な表現から不自然な表現までどれくらいの頻度で出現するかを見ることができる」などの利点もあるため、本稿ではこれを積極的に活用する。<sup>2)</sup> 以下に本稿における Web 検索の概要

を記す。

コーパス：インターネットの WWW ページ

検索エンジン：goo のフレーズ検索 (<http://www.goo.ne.jp/>)

検索日：2007年2月10日～2007年2月12日

検索方法：前項動詞は『日本語基本動詞用法辞典』にある 852 語を含む 1,068 語を対象とし、これらと「通(す、した、さない、さなかつた、します、しました、しません、して)」の 8 つの活用形との共起について検索した。表 3 にはその合計ヒット数を示してある。

今回調査した 1,068 語の動詞のうち、「V1-通す」と 1 件以上共起したものは 283 語であった。このうちヒット数上位 60 語を表 3 に示す。Web 検索と『新潮文庫の 100 冊』の検索結果は大方一致しており、いずれも上位には同じような動詞が来ている。

表 3 「V1-通す」の出現数上位 60 語 (WWW ページより)

	出現数		出現数		出現数			
1	見通す	77,118	21	射通す	197	41	戦い通す	58
2	押し通す	27,656	22	泣き通す	194	42	信じ通す	55
3	読み通す	14,671	23	書き通す	170	43	寝通す	50
4	やり通す	12,830	24	生き通す	168	44	欺き通す	49
5	守り通す	11,911	25	騙し通す	145	45	通い通す	47
6	隠し通す	9,708	26	鳴き通す	138	46	打ち通す	44
7	突き通す	6,901	27	遊び通す	123	47	謝り通す	43
8	歩き通す	4,968	28	踊り通す	119	48	滑り通す	42
9	頑張り通す	806	29	吹き通す	118	49	作り通す	39
10	走り通す	679	30	使い通す	115	50	話し通す	36
11	乗り通す	596	31	引き通す	111	51	着通す	34
12	切り通す	574	32	しゃべり通す	108	52	飲み通す	33
13	刺し通す	392	33	逃げ通す	105	53	立ち通す	29
14	言い通す	337	34	黙り通す	71	54	履き通す	28
15	遣り通す	290	35	描き通す	68	55	眠り通す	27
16	張り通す	289	36	付き通す	68	56	考え通す	26
17	働き通す	255	37	語り通す	67	57	笑い通す	26
18	歌い通す	231	38	投げ通す	66	58	我慢し通す	26
19	弾き通す	225	39	立て通す	66	59	断り通す	26
20	聞き通す	202	40	悩み通す	65	60	叫び通す	24

#### 4. 「V1-通す」の意味

以上の結果から、姫野（1999）にも指摘されているように、「V1-通す」には主に（A）「貫通」と（B）「一貫継続」の2つの意味があることが分かる。動詞によっては次の「射通す」のようにどちらの意味でも使われるものもある。

- (1) 通し矢は、一昼夜かけて本堂の端から端までの軒下約 120 メートルを射通した矢の数を競った行事で、江戸期に最盛期を迎えた。（A：貫通）

(<http://www.mainichi-msn.co.jp/today/archive/news/2007/01/14/20070115k0000m040048000c.html>) 2007/2/10

- (2) かつて、日本の江戸時代に京都三十三間堂において行われた「通し矢」の大矢数という競技（暮れ六つから翌日の暮れ六つまで一人が一昼夜射通した）で、1686（貞享3）年に紀州藩士和佐大八郎が13,053射して、そのうち8,133本通したという大記録を打ちたてたことは、今日三十三間堂内陣の南側の長押にある掲額によって知ることができる。（B：一貫継続）

([http://www.spo-sun.gr.jp/html/relate/essey/e\\_200101.html](http://www.spo-sun.gr.jp/html/relate/essey/e_200101.html)) 2007/2/10

しかし、「V1-通す」にはこれ以外にも「切り通す」（山などを切り開いて道路や水路を通す）や「引き通す」（鉄道や電線などをA地からB地まで引っ張ってきて通す）のように（C）「開通」の意味を表すものもある。

また、「見通す」のように「透視」の意味を表すものもある。これは主体の視線を（通常は見えない）対象物まで矢のように射通して見ることから来ているため、（A）の「貫通」の一種であると考えられる。しかし、「貫通」が物理的な意味を表すのに対し「見通す」は主体の認識を表すという違いがあるため、本稿では（D）「透視」として別に意味を立てることにする。なお、同じ「見通す」にも例（3）、（4）のように「一貫継続」を表すものと例（5）～（10）のように様々な「透視」を表すものがある。<sup>3)</sup>

- (3) 楽しみ方も分からないままでしたが、前編から後編までの約3時間を、眠ることなく見通しました。（B：一貫継続）

(<http://www.kochinews.co.jp/kenjinkai/london10.htm>) 2007/2/12

- (4) ほかの人とはどないに蔭口をきいても、老師だけは黙って見とおして下さるよって、安心しとったらええのや。（三島由紀夫『金閣寺』）（B：一貫継続）

- (5) 少し強い風が吹くと、煙が薄らいで電車通りが見え、まばらな人影も見えた。ずっと遠くまで見通せたかと思うと、たちまち僕らも煙に包まれて、目も口もタ

オルで塞がなくてはいけなくなる。(井伏鱒二『黒い雨』)(D:前方の空間)

- (6) 夜間のわずかな光を増幅し、暗闇を見通します。(D:前方の空間)

(<http://arucomnejp.blog89.fc2.com/blog-date-200602.html>) 2007/2/12

- (7) 16年度全体を見通しますと、歳計現金の1日当たりの平均残高、要するに役所の毎日の財布ですね。(D:視界全体)

(<http://kugikai.city.nakano.tokyo.jp/gijiroku/SOMU/h170425-somu.html>) 2007/2/12

- (8) 張柏端の眼力をもって、沓がどこへ行ったかぐらいのことを見通せないはずはない。(石川淳『張柏端』)(D:現在の目に見えない状況)

- (9) 源氏が先々のことを見通して大事にかしずこうとしているのも道理だと思った。(田辺聖子『新源氏物語』)(D:未来の状況)

- (10) 信夫の心を見通すように貞行はいった。(三浦綾子『塩狩峠』)(D:他人の心)

その他、姫野(1999:192)では「辞書には非情物を主体とした例がのっているが、やや不自然である」とされている「(風が)吹き通す」の例もある。これは名詞形の「風の吹き通しがいい部屋」は自然に使われており、複合動詞の「吹き通す」もさほど悪くないように思う。これは非情物が主体で自動詞的な意味を持つため、(E)「通風」として別に意味を立てることにする。

最後にもう一つ、「V1-通す」には「(風が)吹き通す」と同様に非情物を主体とする「(光を)透き通す」もある。これは対象(素材)が光を透過させることを表すもので、(F)「透過」として別に意味を立てることにする。以上、6つの「V1-通す」について整理すると次のようになる。

#### 「V1-通す」の意味

- (A)「貫通」

例:「刺し通す」、「突き通す」、「射通す」など

意味:主体がV1の行為によって対象に刃物などを突き刺す

- (B)「一貫継続」

例:「(主張を)押し通す」、「読み通す」、「守り通す」、「(義理を)立て通す」  
など

意味:主体が障害に打ち勝ち、V1の行為を最後まで諦めずに継続して行う

- (C)「開通」

例:「切り通す」、「引き通す」

意味:主体がV1の行為によってインフラをA地からB地まで通す

- (D)「透視」



例：「見通す」

意味：主体が眼前の障害物に遮られずに、一般的には見えにくいもの（遠くまで続く前方の空間・視界全体・現在の目に見えない状況・未来の状況・他人の心）に対して、遠くマデ視線を届かせて認識する

(E) 「通風」

例：「(風が) 吹き通す」

意味：遮るものがないため、風が向こうまで一直線に吹き抜ける

(F) 「透過」

例：「(光を) 透き通す」

意味：対象（素材）が光を透過させる

## 5. 「V1-通す」と「V1-抜く」のV1の比較

次に複合動詞「V1-通す」と「V1-抜く」の取るのV1の違いについて比較する。「V1-抜く」は先行研究でも「V1-通す」の類義語として比較の対象とされてきたもので、姫野（1999）では「貫通」（「射抜く」）、「抜去」（抜出：「くり抜く」、選抜：「選り抜く」、抜駆：「追い抜く」）、「貫徹」（「愛し抜く」）、「極度」（「苦しみ抜く」）といった用法があるとされている。このうち、「V1-通す」と「V1-抜く」の両方に関わる意味は「貫通」と「貫徹」（「一貫継続」）で、とりわけ「貫徹」（「一貫継続」）の場合の使い分けが問題となる。この点に関して、城田（1998：145）は「・トオスは・ヌクに近いが、完成に至る過程に逆流のあることを特に表現しない」と述べ、姫野（1999：194）も「この二つの語を比べると、「～ぬく」のほうが意志性も目的意識も強い。「～ぬく」は、意志的動詞に接続し、強固な意志をもってその行為を貫くという意味を表す。その裏には、周囲の邪魔や抵抗を断固はねのけてという含みがある。（中略）これに対して、「～とおす」の重点は、むしろ初めから終わりまで何かが続けて行われることにあり、それを支える意志性は二義的なものである」として、「帽子をかぶり {通した/\*抜いた}」や「泣き {通した/\*抜いた}」の許容度の違いを説明している。

「V1-通す」の「一貫継続」と「V1-抜く」の「貫徹」の意味の違いは、城田（1998）や姫野（1999）の記述で大方説明されていると思われる。ただ、具体的にどのような動詞が「V1-通す」または「V1-抜く」のV1に来やすいかについてはいまひとつ明確ではないため、本稿ではWeb検索を利用して両者の違いを明示的に示すことにする。そこで、先の「V1-通す」の検索結果と比較するために「V1-抜く」についても同様の検索を行った。その概要は次の通りである。

コーパス：インターネットの WWW ページ

検索エンジン：goo のフレーズ検索 (<http://www.goo.ne.jp/>)

検索日：2007年2月3日～2007年2月7日

検索方法：前項動詞は『日本語基本動詞用法辞典』にある852語を含む1,068語を対象とし、これらと「抜（く、いた、かない、かなかった、きます、きました、きません、いて）」の8つの活用形との共起について検索した。表4にはその合計ヒット数を示してある。

ここで「V1-通す」の出現数上位60語を基準にして、それと同じV1を持つ「V1-抜く」との出現数を比較したものを表4に示す。一方、逆に「V1-抜く」の出現数上位60語を基準にしたものを表5に示す。これらを見ると、同じ移動動詞でも「歩く」は「通す」と結び付きやすく、「走る」は「抜く」と結び付きやすいことなど、動詞によってどちらと結び付きやすいかに違いのあることが分かる。これにより、「走る」、「生きる」、「悩む」、「戦う」、信じる、「考える」のように主体の積極的な意志によって難関を突破することを表しやすい動詞ほど「抜く」と結び付きやすいことが見て取れる。

表4 「V1-通す」と「V1-抜く」の出現数の比較 (WWW ページより)

	V1	出現数			V1	出現数			V1	出現数	
		通す	抜く			通す	抜く			通す	抜く
1	見る	77,118	141,018	21	射る	197	14,720	41	戦う	58	24,921
2	押す	27,656	96	22	泣く	194	4	42	信じる	55	1,254
3	読む	14,671	278	23	書く	170	863	43	寝る	50	0
4	やる	12,830	29,120	24	生きる	168	149,810	44	欺く	49	0
5	守る	11,911	29,562	25	騙す	145	25	45	通う	47	3
6	隠す	9,708	10	26	鳴く	138	0	46	打つ	44	13,212
7	突く	6,901	0	27	遊ぶ	123	43	47	謝る	43	3
8	歩く	4,968	268	28	踊る	119	143	48	滑る	42	42
9	頑張る	806	1,169	29	吹く	118	120	49	作る	39	8
10	走る	679	5,992	30	使う	115	30	50	話す	36	1
11	乗る	596	1	31	引く	111	71,424	51	着る	34	2
12	切る	574	58,386	32	しゃべる	108	3	52	飲む	33	2
13	刺す	392	33	33	逃げる	105	45	53	立つ	29	1
14	言う	337	42	34	黙る	71	0	54	履く	28	0
15	遣る	290	73	35	描く	68	103	55	眠る	27	0
16	張る	289	7	36	付く	68	0	56	考える	26	31,473
17	働く	255	139	37	語る	67	62	57	笑う	26	7
18	歌う	231	50	38	投げ	66	1,829	58	我慢する	26	3
19	弾く	225	14	39	立て	66	11	59	断る	26	2
20	聞く	202	26	40	悩む	65	5,118	60	叫ぶ	24	6

表5 「V1-抜く」と「V1-通す」の出現数の比較 (WWW ページより)

	V1	出現数			V1	出現数			V1	出現数	
		抜く	通す			抜く	通す			抜く	通す
1	生きる	149,810	168	21	知る	3,139	6	41	吹く	120	118
2	見る	141,018	77,118	22	苦しむ	2,250	21	42	困る	116	0
3	勝つ	127,734	7	23	投げる	1,829	66	43	引っ張る	115	10
4	引く	71,424	111	24	信じる	1,254	55	44	描く	103	68
5	切る	58,386	574	25	頑張る	1,169	806	45	押す	96	27,656
6	追う	46,271	6	26	書く	863	170	46	駆ける	75	17
7	考える	31,473	26	27	掘る	813	17	47	遣る	73	290
8	守る	29,562	11,911	28	磨く	480	3	48	蹴る	71	5
9	やる	29,120	12,830	29	愛する	450	0	49	迷う	69	1
10	選ぶ	28,425	3	30	攻める	403	11	50	語る	62	67
11	戦う	24,921	58	31	売る	344	0	51	壊える	60	2
12	出す	16,908	1	32	繰る	341	0	52	泳ぐ	53	20
13	振る	16,556	13	33	惚れる	304	2	53	歌う	50	231
14	耐える	15,350	0	34	読む	278	14,671	54	嫌う	49	0
15	射る	14,720	197	35	歩く	268	4,968	55	通す	46	1
16	打つ	13,212	44	36	彫る	242	2	56	逃げる	45	105
17	撃つ	7,552	2	37	踊る	143	119	57	遊ぶ	43	123
18	走る	5,992	679	38	働く	139	255	58	言う	42	337
19	悩む	5,118	65	39	責める	125	2	59	滑る	42	42
20	闘う	4,436	14	40	調べる	124	3	60	焼く	39	7

本稿では「V1-抜く」についての議論がなされていないので、これ以上の論述はせず、現象の指摘にとどめておく。しかし、今後は「V1-抜く」の分析も進めて、「V1-通す」と「V1-抜く」の意味の違いについて追究していくつもりである。

## 6. まとめ

以上、本稿ではまず本動詞「通す」と「通る」の意味の整理をし、次に複合動詞「V1-通す」の意味について考察した。その結果、「V1-通す」は次の6つの意味に分類できることを指摘した。

「V1-通す」の意味

(A) 「貫通」

例：「刺し通す」、「突き通す」、「射通す」など

意味：主体がV1の行為によって対象に刃物などを突き刺す

(B) 「一貫継続」

例：「(主張を) 押し通す」、「読み通す」、「守り通す」、「(義理を) 立て通す」

など

意味：主体が障害に打ち勝ち、V1の行為を最後まで諦めずに継続して行う

(C)「開通」

例：「切り通す」、「引き通す」

意味：主体がV1の行為によってインフラをA地からB地まで通す

(D)「透視」

例：「見通す」

意味：主体が眼前の障害物に遮られずに、一般的には見えにくいもの（遠くまで続く前方の空間・視界全体・現在の目に見えない状況・未来の状況・他人の心）に対して、遠くマデ視線を届かせて認識することを表す

(E)「通風」

例：（風が）吹き通す

意味：遮るものがないため、風が向こうまで一直線に吹き抜ける

(F)「透過」

例：「（光を）透き通す」

意味：対象（素材）が光を透過させる

今後は本動詞「抜く」と「抜ける」および複合動詞「V1-通る」、「V1-抜く」、「V1-抜ける」の分析を進めることにより、「V1-通す」の意味をさらに明確に記述していきたいと考えている。

付記：本稿は平成22-25年度科学研究費補助金（基盤研究（B））（課題番号22320093）による研究成果の一部である。

## 注

- 1) 「刺す、差す、さす」、「駆ける、馳ける、かける」、「言う、云う」のように表記の違うものも、同じ意味で使われている場合にはまとめて集計してある。
- 2) 荻野（2007）や杉村（2007）では、WWWページが有用なコーパスとなりうることが実際の言語分析を通して論じられている。
- 3) 「見通す」は何を見通すかによってさらにいくつかの意味に分けられる。これに関して、鷺見（2008）は「見通す」を第一義から第四義までの4つの意味に分け、これら4つの意味のネットワークについて論じている。

## 参考文献

- 荻野綱男 (2007) 「コーパスとしての WWW 検索の活用」『月刊言語』第 36 卷第 7 号, 大修館書店, 26-33
- 國廣哲彌 (1979) 「トオル・トオス・ツウジル」柴田武・國廣哲彌・長嶋善郎・山田進・浅野百合子 (編) 『ことばの意味 2』, 平凡社, 122-130
- 小泉保・船城道雄・本田晶治・仁田義雄・塚本秀樹 (1989) 『日本語基本動詞用法辞典』, 大修館書店
- 城田 俊 (1998) 『日本語形態論』, ひつじ書房
- 杉村 泰 (2007) 「インターネットを利用した日本語の類義分析」『月刊言語』第 36 卷第 7 号, 大修館書店, 42-49
- 鷺見幸美 (2008) 「ミトオスの意味構造 — 使用依拠モデルに基づくネットワークの記述 —」森雄一・米山正明・山田進・西村義樹 (編) 『ことばのダイナミズム』, くろしお出版, 139-154
- 姫野昌子 (1999) 『複合動詞の構造と意味用法』, ひつじ書房
- 田忠魁・泉原省二・金相順 (編) (1998) 『日本語類似表現のニュアンスの違いを例証する類義語使い分け辞典』, 研究社
- 松村明・山口明穂・和田利政 (編) (1995) 『旺文社国語辞典』第八版, 旺文社
- 森田良行 (1989) 『基礎日本語辞典』, 角川書店

